

# 印西市国民健康保険運営協議会会議録

令和7年8月6日（水）

## 印西市国民健康保険運営協議会会議録

日 時	令和7年8月6日（水）午後1時40分から午後2時40分
場 所	印西市役所 附属棟23・24会議室
出席委員	新田峰子委員、長尾穂子委員、笠井幸夫委員、土屋英明委員、川村成章委員、村上和代委員、上條公司委員、篠田隆委員、藤澤一喜委員、山本和弘委員
欠席委員	齊藤はるか委員、津金澤俊和委員、福光正憲委員
議 事	<p style="text-align: center;">議 事</p> <p style="text-align: center;">議題第1号 令和6年度印西市国民健康保険特別会計決算について</p> <p style="text-align: center;">議題第2号 令和6年度事業報告について</p>
そ の 他	なし
傍 聴 人	なし

1. 開 会
2. 市長挨拶
3. 議 事

議題第1号 令和6年度印西市国民健康保険特別会計決算について

事務局より説明後、質疑

委 員 保険税についてですが、現年度徴収率が高くなったということですが、滞納繰越分については金額的にはだいぶ減っている様ですが、その辺の状況について教えてください。

事務局 保険税の現年度分の収納率についてですが、先程の説明にあったとおり0.64ポイント上昇しております。現年度分については、納期ごとに督促状また催告書等を送付しまして納付を促しているところです。

5月に現年度分の催告書を送付する際、現年度分の納付がないと過年度分として納税課債権回収対策室に移管するという通知をしたところ、納付が促進された状況だと考えています。

滞納繰越分は決算額が減少しており、収納率も減少しているところがございます。納税課で滞納繰越分については徴収の強化を図っており、適切な滞納処分等を実施しておりますが、それでも納付がされなかったということで減少となっております。

委 員 歳入、歳出の差額は次の年の繰越金に充てられるのでしょうか。

事務局 差額については、令和7年度予算へ繰越しております。

委 員 令和6年度は繰越金がありますが、その前年は0円でしたが、何かあったのでしょうか。

事務局 令和5年度の決算額で繰越金が0円となっておりますが、歳入、歳出の

歳入不足分を一般会計から法定外繰入れを行っており、令和5年度につきましては、決算を見て赤字補填分、歳入不足分のみ繰入れたため、繰越金が0円となっております。

## 議題第2号 令和6年度事業報告について

事務局より説明後、質疑

委員 最初のページの活動や成果に対する評価区分のところですが、Bがほぼ目標値どおりとなっており、目標値が80%~110%とかなり幅広くなっています。実際、評価区分を全部見ると保健事業一覧のC-⑥だけが評価区分Cで後は全て評価区分Bです。C-⑥特定保健事業の目標：特定保健指導実施率20%に対して、実績：特定保健指導実施率15.4%の暫定値となっていますが、これを計算すると77%となるため、評価区分Cということで合っていますでしょうか。

事務局 80%を下回っておりましたので、自己採点方式ではありますが、評価区分Cで評価させていただいております。

委員 評価区分C以外はBですが、この報告実績に基づいて次の計画等を作ると思いますが、例えばBだったら継続して特段力を入れずに同じようにやる、Cは目標値を下回っているのを力を入れてやるなど、ABCの評価に対してどのように活用していくのかを参考に教えていただければと思います。

事務局 評価区分がC以下になってしまった状況につきましては、優先事項としまして、評価の低いところから如何に改善していくか重点的に取り組んでいくこととなります。

委員 評価区分Bの目標値が80%~110%ということで、80%も110%も変わらないのではないかと、Bだから変えなくても良いのではないかなど、職員のモチベーションや、この評価について一般的なのか印西市特有なのかを教えてください。

事務局 評価については、実施計画の要綱を参考に国保事業に当てはめて、今年度から評価をさせていただきました。委員のおっしゃるとおり、評価結果によってBが結果として多くなっています。確かに目標値に届かないもの、目標値を超えているものが同じ評価として生じてしていると改めて感じています。今後、評価点数については検証し、次年度どのようにしていくかを検討させていただければと思います。

委員 単にABCで内容を判断するのではなく、実施状況にこういった事があったから目標が達成できない等の要因を含めて評価をすることで、わかりやすく納得できる形になっていくのではないのでしょうか。この結果を活用し、予算や事業に反映させていく仕組みにしていって良いのではないかと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。データヘルス計画でございますが、令和

6年度から令和11年度までデータヘルス計画を策定しており、毎年度PDCAに基づき、効果的な事業を運営できるように見直し改善を図っていく計画になっております。目標値についても毎年度目標値を設定しており、来年度の令和8年度は中間評価となっております、さらに皆様にご協議いただき事業の見直しを図っていく年になっております。最終年度の目標値は大きな目標値になっておりますので、今回ご意見をいただいた事を踏まえまして、来年度以降の評価については達成できた要因、達成できなかった要因という様な項目を入れても良いのかなと感じましたので、検討していきたいと考えております。

委員  
事務局  
事務局

目標値を設定する根拠はどのようにしているのでしょうか。  
データヘルス計画の最終的目標値は、前期計画の状況を踏まえて印西市の保健事業の重点的に取り組む事業として個別に設定し、目標値はそこに向けて実施可能な数値を設定しております。

事務局

令和6年度から6年間の目標値を定めたデータヘルス計画を定める際に、医療費や過去のレセプトで医療費分析を行い目標設定をしております。

委員

国民健康保険財政の安定的な運営ということで、決算でその他会計繰入金がありますが、一般会計からの支出だと思います。本来なるべく0円にしたい。また、保険税が上がるのは大変困る。事業内容である程度支出を減らす方策があったと思いますが、レセプト点検などはいかがなものでしょうか。また、この決算のままでよろしいと考えているのかお聞きしたい。

事務局

レセプト点検については、医療費適正化の取り組みということで実施しているところです。適正な保険給付を行うため必要な事業です。この事業は交付金の対象となっており、医療費適正化として引き続き実施していく考えであります。

一般会計からの法定外繰入金ですが令和5年度より実施しており、令和5年度は約3億4千万円、令和6年度は約3億3千万円となっております。なかなか解消の見込みが難しい状況となっております。税収については被保険者数が減少しているため、保険税率を上げたが増額の収納が見込めない状況です。県に納付する事業費納付金ですが、保険給付費の財源となるものですが、保険給付費は全体的には減っていますが、被保険者数も減っているため1人当たりの医療費は横ばいとなり、県に納付する納付金も減少してこない状況です。保険税を納付金に充てることになっているため、その部分の乖離が埋まらないため、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況となっております。

委員

議会は金額について納得しているのか。国保側で全体の支出を減らす方策を考えるのか。その辺のお考えをお聞きしたい。

事務局

千葉県国民健康保険運営方針におきましても、一般会計からの繰入金

は解消すべきものと示されています。一般会計繰入金は、国民健康保険以外の方にも賄っていただいているような状況になっているので、削減を図っていきたいと考えております。県の運営方針も示され、議会での説明もしながら、国民健康保険税の税率改正をさせていただいています。

国民健康保険の構造的な問題として、所得が少ない、年金所得の方が多い、高齢化により医療費が増加しているなどがあります。保険者として医療費適正化等により歳出抑制を図り、収納率の向上など歳入の確保に努め赤字削減に取り組むべきと考えています。

委員 今のままの事業方針で良いとお考えでしょうか。

事務局 県の運営方針に取り組むべき3つの事業がかかげられております。市としては、この取り組みについてさらに強化していきたいと考えております。

以上議事終了

#### 4. その他

事務局 事務局から報告を2点させていただきます。3月に書面にてご意見いただいた、国民健康保険税条例の一部改正ですが、限度額引き上げ、軽減判定所得基準額の引き上げについては、5月に行われた臨時議会で専決処分の報告をして承認されましたのでご報告いたします。

2点目はマイナ保険証への移行についてですが、保険証の有効期限が7月31日までとなっており、8月の更新の際は、マイナンバーカードの利用登録をされている方には資格情報のお知らせ、マイナンバーカードを持っていない方、利用登録をしていない方については資格確認書を7月に送付しています。現在、利用登録率は5月末時点で67.1%となっております。約7割の方がマイナ保険証、約3割の方が資格確認書となっております。7月中に本人の登録状況により送付していますが、マイナンバーカードの利用登録をした覚えがない、利用登録を解除してほしい等のお問い合わせが多くありました。7月中の利用登録の解除申請の受付件数は34件、施設入所者の方などが対象の資格確認書交付申請の受付件数は9件となっております。引き続き被保険者の皆様が適切に医療機関に受診できるよう周知をして参りたいと思います。

#### 5. 閉 会

印西市国民健康保険運営協議会  
会 長 篠田 隆